

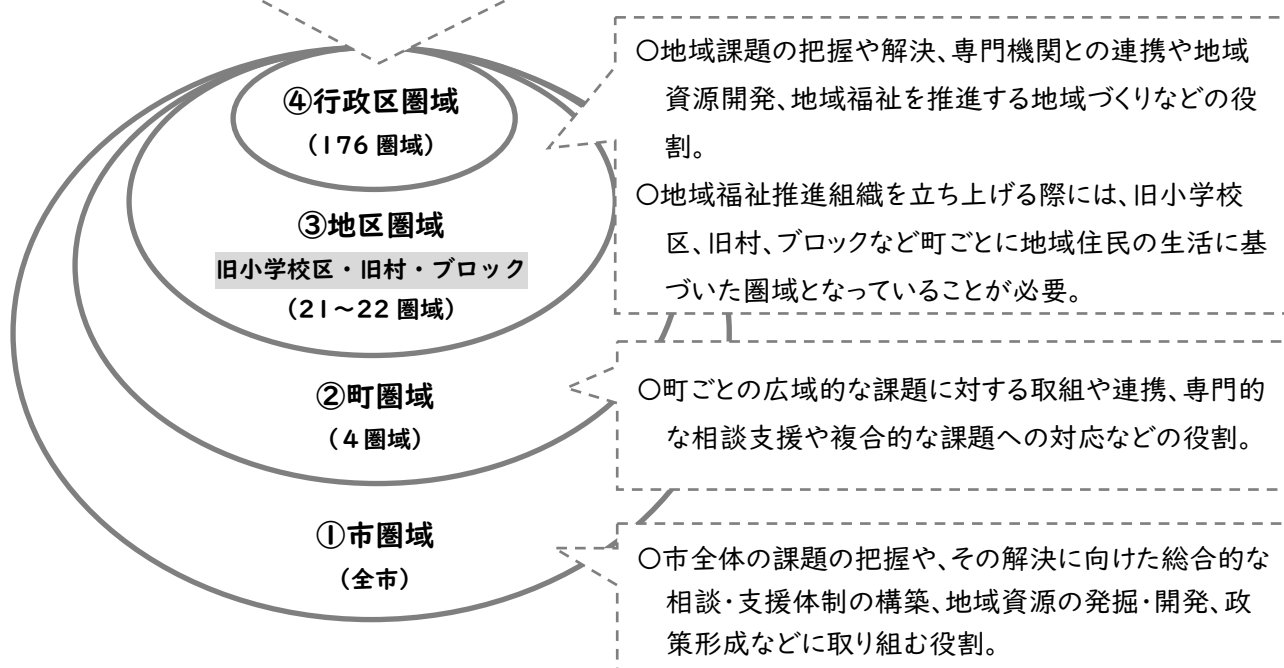
3 地域福祉を推進する圏域について

本市は、面積が 616.40 平方キロメートルと京都府の 13.4%を占める大きなまちです。その中に 30,597 人（住民基本台帳（令和4年4月1日現在））が暮らしており、それぞれの地域によって生活の歴史や文化、抱える問題等も異なっています。

地域福祉の推進を考える際は、こうした地域課題を一律に市全体で捉えるのではなく、より身近な地域の中で検討し、解決に向けて取り組むことが必要です。

【地域福祉を推進する圏域の考え方】

- 住民にとって最も身近な圏域であり、見守りや支え合い・助け合い等の基礎的な単位となる圏域。
- この圏域には、日常적인見守りを通して課題を早期発見、早期予防をしたり、ニーズを把握するなど、顔の見える関係ならではの役割がある。
- 支え合い・助け合いの基礎となるこの区圏域で「地域福祉力」を高め、活動の活発化を促すことが重要。



4 圏域階層別の課題解決・サポート体制

